

No	会場	質問内容	分類	回答内容
1	広島会場	データ連携基盤に提供する必要がありますがある情報について、知的財産権との関係について再度説明をお願いします。 「公共の福祉に資する目的による無償提供」という言葉もあったが、どのようなものか。	実証事業	実証事業を進める中で知的財産権が発生する客体は2点あり、 ○1点目は実証事業で進めるサービス・ソリューションそのものに係る権利である。これについては、一定条件を満たせば実施事業者が権利を保持するものである。 ○2点目については、実証事業で生まれたデータに係る権利である。これについては、基本的には広島県に帰属する方針としている。しかし、個人情報や重要な営業ノウハウ等、外部に出すことができないデータも発生すると見込まれるため、具体的な権利関係については県と各コンソーシアム間の個別協議で決めていきたい。
2	広島会場	AI、IoT以外のツールとして、エネルギー・コミュニケーションズが保有しているRPAエンジンを使用することは可能か。	実証事業	(エネルギー・コミュニケーションズ回答) コンソーシアムと個別協議を行ったうえで、効果的な実証プロジェクトになれば無償利用も視野に入れて協力したい
3	広島会場	1社が複数のコンソーシアムに参加して応募することは可能か。	実証事業	可能である。
4	広島会場	コンソーシアムを組成する期限はいつか。	実証事業	参加資格確認申請時点においてコンソーシアムを組成していることが要件となるため、1次公募においては6月中、2次公募においては9月以降となる。
5	広島会場	「実証実験の場が広島県内であること」とする要件について、例えば製造事業者において、本社機能は広島にあるが工場・生産ラインは他県にあり、データセンシング等をその他県にある工場で行うような場合、要件不十分となるのか。	実証事業	原則として、実証の場が県内にあることとしているが、詳細は個別協議で確認したい。
6	広島会場	外注費としてコンソーシアム外の企業に発注した経費は、事業経費として計上してよいか。	実証事業	外注経費については、計上してよい。しかし、事業費の殆どが外注経費というような場合は認められないケースも想定されるので、具体的な割合等については個別協議で確認したい。
7	広島会場	実証事業の出口として水平展開が実現出来そうになった場合、事業化については広島県からの投資はあるか。	実証事業	実証後の事業化を後押しする経費は、現時点では持っていない。 しかし、ひろしまサンドボックス推進協議会には今後金融機関やベンチャーキャピタル等のインベスターにも加入してもらいたいと思っており、そういった団体からの後押しは期待できると思う。
8	広島会場	広島県が事業委託を行っているPMOとひろしまサンドボックス推進協議会の役割の違いは	実証事業	PMO業務については所謂プロジェクトマネジメント業務であり、ひろしまサンドボックス事業全体のマネジメント業務を実施し、本業務の円滑な実施を進めるものである。ひろしまサンドボックス推進協議会については、この場でコンソーシアム組成のパートナーを見つけれられる場であり、プロジェクトの進捗等を間近に観察できるというメリットがある。
9	広島会場	設備備品費用を事業費用として計上する際、上限額は設定されているか。	実証事業	上限額については、設定していない。しかし、事業費の殆どが設備備品費というような場合は認められないケースも想定されるので、具体的な割合等については個別協議で確認したい。
10	広島会場	社内IoTエキスパート講座に、1社から複数名で参加することは可能か。	人材育成事業	可能な限り多くの企業の方に参加して欲しいとの趣旨により、1社1名を原則としている。しかし、応募状況等によっては対応可能な場合もある。
11	福山会場	コンソーシアムの組成要件である「4者以上」については、法人のみ計上するのか。	実証事業	コンソーシアムの構成単位については、法人・個人を問わず、1つの集まり・組織で以て1者と数える。
12	福山会場	コンソーシアムの組成要件である「4者以上」について、4者とした根拠は何か。	実証事業	国の補助・支援事業等については、おむね「4者以上」を一定程度の規模の集まりとして取り扱う事例が多かったことから、参考とした。
13	福山会場	コンソーシアムに自治体を含めることは可能か。	実証事業	自治体においては実証事業の展開を支援する役割を期待しているため、コンソーシアムを構成するものとして含め、1者として計上してよい。なお、公的機関が支出した経費については一部計上除外の附則を設けることとして検討している。
14	福山会場	社内IoTエキスパート講座の応募者数が参加上限20社を超過した場合、どのようにするのか。先着順となるのか。	人材育成事業	定員超過した場合の対応については、事前審査の実施対応も含めて、検討中。先着順による方法は取りたくないと考えている。
15	福山会場	コンソーシアムの組成要件である「4者以上」の計上方法については、企業グループ全体で1者とするのか。それとも、グループ内の個社でそれぞれ1者として計上してよいか。	実証事業	企業グループ内の個社単位で1者として計上してよい。しかし、組成要件4者を全て企業グループ内の社だけで構成された場合は、本事業の狙いの1つである「異業種間の協業」が果たされないと思われる。
16	福山会場	「県に提供するデータ」と「連携基盤にアップロードするデータ」の取り扱いの違いはどのようなものか。経営のコアとなるノウハウ等については、官公庁と事業者の間で認識の差異等があると思われるため、トラブルの発生が無いようにしたい。	実証事業	実証事業で生まれたデータは、基本的には全て「県に提供するデータ」となり、その中からデータ連携基盤にアップロードしてもよいデータを選択して頂く、という構成である。 経営のコアとなるノウハウや個人情報等については取扱いに最大限の注意を要するものになるため、PMO等外部有識者の知見を取り入れたうえで事業設計を進めてはいるが、画一的な基準を設定して取扱うことが難しいと思われるため、具体的な取扱い等については個別協議で確認したい。
17	福山会場	国等の補助金交付を受けている事業は今回の事業に応募することは出来ないのか。	実証事業	事業内容が全く同一であった場合は不可能であり、国の補助金交付要綱に於いても同様であると見込んでいる。
18	福山会場	データ連携基盤のAPI等具体的な技術仕様、取組のスケジュールについてはいつ公開される予定か。	実証事業	検討中である。
19	福山会場	当社は東京に所在する企業であるが、広島県内企業の情報をひろしまサンドボックス推進協議会にて収集したいと考えているが、当該協議会の活動内容はどのようなものか。	実証事業	1日目においてはリアルでのミートアップの場を持ちたいと考えている。
20	福山会場	毎年度末に実施する事業評価について、事業継続を判断する指標は何か。	実証事業	事業継続を判断するためのKPIについては、個別協議により設定したいと考えている。しかし、目標値と実績値の定量的比較のみで継続の可否を判断することはない。
21	福山会場	連携協定締結企業3社の立ち位置はどのようなものか。例えば、個別の実証事業を進める中で、県及びコンソーシアムが気付かないような新しいノウハウが生まれ出て、プラットフォームだけがそのことを察知したような場合に、県及びコンソーシアムに対して適切なアドバイスを行ってくれるのか。それとも、県及びコンソーシアムには何も伝えず、自社に持ち帰るようなことをするのか。	実証事業	連携協定締結企業においては、専門的な知見による適切なアドバイスを行う役割を期待している。